



新京成のんびりおでかけ途中下車



VOL.20 2008.6

発行/新京成電鉄株式会社
鉄道営業部 旅客サービス課
http://www.shinkeisei.co.jp/

松戸

上本郷

松戸新田

みのり台

八柱

常盤平

五香

元山

くぬぎ山

北初富

新鎌ヶ谷

初富

鎌ヶ谷大仏

二和向台

三咲

滝不動

高根公園

高根木戸

北習志野

習志野

薬園台

前原

新津田沼

京成津田沼



▲鎌ヶ谷大仏

安永5年(1776年)、土地の富豪、大國屋(福田)文右衛門が先祖の冥福を祈って建立した阿弥陀如来坐像です。青銅製で高さは1.8m、台座の高さは60cm、江戸神田の鋳物師多川主膳の作です。

鎌ヶ谷大仏

枯れ野かな 魚文の句が刻まれている他「右木をろし道」「左 中木戸道」の文字も刻まれている。木下街道の道標を兼ねていたことが伺えます。



▲魚文の句碑

魚文の句碑

この句碑は明和元年(1764年)に建立されました。

松尾芭蕉の流れをくむ俳人三級亭魚文が、旅の途中で鎌ヶ谷宿を通ったときに詠んだ句と言われています。「ひととつ家へ人を吹き込む」とあります。



▲七面堂

この小さな境内に、七面大神(日蓮宗の守護神)の石塔や竜神水の神(の石塔)がありま

す。境内脇に在ります。離子水(現在の離子水公園)の守護神とも伝えられています。

七面堂



▲旅籠丸屋

※個人宅のため、家屋の見学はできません。

丸屋は、江戸時代の木下街道鎌ヶ谷宿で営業していた旅籠(旅館)の1軒です。この建物は、明治30年(1897年)ごろ、江戸時代の旅籠の造りと同じように建築されたといえらる。な

旅籠丸屋

ます。なお、鎌ヶ谷宿には、江戸時代後半で7軒、明治初年で4軒の旅籠が存在したことが、記録によって確認できます。

鎌ヶ谷大仏～丸屋～離子水公園

